

## コロナウイルス感染症対策と7月の保育について

### 1 広島にコロナウイルス感染者が出ない間にできること

ありがたいことに、5月に入ってから広島県における新型コロナ感染者が出ていませんが、6月19日政府が県をまたぐ外出自粛規制を解除したのを受け、広島への人の往来が増えてくるものと思われまふ。先月の園だよりでもお伝えしましたが、乳幼児期の子どもたちは、あそびの中で身体全体を使っているいろいろなことを学んでいます。また、その学びを群れの中で試しながら自分のものにしていくのが乳幼児期の特性です。**乳幼児期は人生を生きる全ての基本的な力を身につけるとき**です。新型コロナウィルス感染者が発生していない時には、感染症対策に最大の注意を払いながら、子どもたちが興味を持ち集中して遊べることや、子どもたちの発達を保護者の皆様に見て頂ける行事も、姿・形を変えることで可能であれば取り入れてまいりたいと思っています。

7月はコロナより熱中症が気になります。園児職員ともマスク着用をしないことがあります。

### 2 今後の園行事について…感染者が身近に発生した時は中止になります

- ① 年長児一泊保育…7月の前半と後半、広島市野外活動センターと広島市似島臨海少年自然の家において実施します。高校生の参加はなく、園児と職員のみ、各園とも1泊2日  
活動内容および詳しい内容はクラス便りでお知らせします。
  - ② 夏まつり…こども中心の出店ごっこや盆踊りなどで実施します。
  - ③ 運動会 …園児と普段生活を共にする保護者だけで開催。未就園児や保護者番組等一部を取りやめます。卒園児徒競争は感染者が身近に発生しない限り実施の予定。
  - ④ 保育参観…実施します。園児と普段生活を共にする保護者だけ。広い部屋など工夫します。
  - ⑤ 個人懇談…実施します。時間予約を検討します。
  - ⑥ 水あそび…実施します。プールも利用します。
  - ⑦ 小学生交流会…来年度以降に延期。コロナ感染症が収束してから行います。
  - ⑧ 作品展・バザー…園児と普段生活を共にする保護者だけで開催の予定。バザーにおける食品の提供は、業者から提供されたもの以外は原則として扱いません。
- ※ 生活発表会、園外保育等…コロナ感染症やインフルエンザ等の発生状態をみながら、開催場所や開催方法を考えながらできるだけ実施の予定。

### 3 当園の保育はコロナ感染者はいないことが前提です

園児の一人が新型コロナ感染症に罹患しても園を一定期間閉じることになります。しかし、恐れて何もしないのでは子どもたちの楽しみを奪うことになります。新型コロナ感染症は子どもが持ち込むのではなく、大人が感染地に行って感染してきたり、感染地から持ち込まれるのです。子どもたちの喜びを奪わないように、感染者が出ているところや普段接触していない人と接触した時は、感染防止に最大の注意を払ってください。お子さんを含め体調不良を感じたときは、園への出入りを遠慮するようにお願い致します。

令和2年度 7月の園だより



水あそびが始まります!

今月より、水あそびが始まります。屋上やテラス、園庭など、安全、衛生面に気をつけながら、それぞれの場所で体調や気温に合わせておこなっていきます。

幼乳児クラスは、2階テラスに小さいプールにお水をためて、水の感触を全身で感じたり、幼児クラスは、広い屋上空間でじっくり試したり、友だちと協力しながら水あそびを楽しみます。持ち物など詳しいことは“きっすノート”でお知らせします。



海や山に囲まれて楽しいお泊り保育

日にち：7月30日(木)～31日(金)

今年度は広島市南区似島“臨海少年自然の家”で年長組さんが、お泊り保育を楽しみます。自然の中で散策活動やポイントラリー、芝すべりなど貴重な楽しい経験を沢山します。また夜にはキャンプファイヤーをした後、星空の中、虫の声や葉っぱの揺れる音を聞きながら大きなお風呂に入ったり、花火を見て楽しめます。

なお、新型コロナウイルス感染者が市内に発生した時は中止になります。

保護者の皆さんから離れ、自然の中で仲間と一緒に過ごすことで、協力することの大切さや、自立心を育む機会となればと思っています。ご家庭でもお子さんと一緒に生活習慣をふりかえてみてくださいね。

似島臨海少年自然の家



地震・水害に備えよう



広島市南消防署 警防課 救助係

「コロナの時代だからこそできる“楽しい保育”」

園庭の夏野菜もすくすくと育ち、子どもたちも野菜が成長していく様子やそこへ集まる生き物にも興味を持つなど、夏の園庭も魅力がいっぱいです。

新型コロナウイルス感染拡大防止のための登園自粛も終了して、1か月が経ちましたが、少しずついつもの日常に戻ってきています。まだまだ、涙が出る子どももいますが、しっかりと信頼関係を育み、子どもたちにとって保育園が安心できる場所、いつも楽しい場所となるように1日1日を大切に過ごしていきたいと思っています。

6月中旬よりお天気のいい日には園庭ではどろんこあそびが盛り上がり始めています。1、2歳児は水の心地よさを感じながら土を混ぜて何度もなんども手で感触を確かめたり、園庭の廃材コーナーから容器を見つけて、持ってきては水や泥を入れたり出したりを繰り返して楽しんだり、大きなお鍋に泥をいっぱい入れて外机の上まで運び、おたまでぐるぐるかき混ぜたりと大好きな保育者の側で好きなあそびをじっくり楽しんでいます。また、幼児クラスにもなると時間をかけて泥団子を作り、大切に秘密の棚に飾りまた次の日続きを楽しむ姿や、泥や水の性質を知り園庭に長い川を仲間と一緒に考えて作るなど、1時間ほど夢中になって遊んでいます。その中で5歳児クラスの年長さんも自分たちで野菜の苗を植え、毎日交代でお水をあげるなど、屋上や園庭で夏野菜の栽培を楽しんでいます。毎日の水やりで育つ野菜の不思議さや年長さんのお顔よりも大きく育つ葉っぱへの興味、そこへ集まる生き物への関心など、野菜の栽培だけではない魅力や発見、「これはなに?」「調べてみよう」など子どもの興味はまだまだ広がっているようです。

例年なら、幼児クラスは親子遠足や運動会、乳児クラスも保育参観など保護者の方と一緒にお子さんの育ちを喜んでいただけるような行事もありますが、今年度は保護者の方に形をかえてお子さんの育ちや保育の様子を1階ロビーのモニターで動画をお届けしたり、“きっすノート”で保育の様子を配信するなど工夫をしているところです。0歳のあかちゃんから年長さんまでの子どもたちがあそびを通して考えている姿や挑戦する姿、仲間と一緒に試行錯誤している様子の中から、子ども主体の姿やあそびに集中する様子、あそびの過程に注目してご覧いただけると嬉しいです。

先日の保護者会総会書面決議で年長さんのお泊り保育の代案を2月とお知らせしましたが、広島では現在流行していないこと、時期や場所の調整、そして子どもたちがお泊り保育を通して経験することの意味や育ちを考え、7月に場所を変更しお泊り保育へ行くことを決定しました。詳しくは行事予定やクラスだよりでもお知らせします。

まだまだ新型コロナウイルスは油断できませんが、こんな時代だからこそできることをみんなで考えて、工夫して、子どもたちのためにできることを保護者のみなさんと一緒に考えて実行していき、楽しい保育へとつなげていきたいと思っています。



第二みみょう保育園 主任

子育て応援メッセージ

他人と比較してはいけない  
ほんのわずかでも、できている部分を  
見つけ、  
それに気づかせることが重要だ



親は子どもに何か教える際に、周囲の子どもやきょうだいを例にとり、比較しがちです。それにより、見本を示すと同時に間違いに気づかせ、懲らしめる効果を狙うのです。しかし、子どもは比較されることにより、自信を失い傷つきます。そして問題行動を増やす結果になるのです。もし正しい例を示したいのであれば、本人の中にある、ほんのわずかでもできている部分を見つけそれに気づかせることが大切です。いいとこみつけ・・・してみましょう。

ダイヤモンド社

「アルフレッド・アドラー

人生に革命が起きる100の言葉」

小倉 広 解説



7月7日は七夕です。人日(正月)、上巳(桃の節句)、端午(たんご)、七夕、重陽(菊の節句)は、昔から五節句といわれ、それぞれにちなんだ伝説や行事があります。

七夕は星まつりで、天の川をはさんで東西に位置するアルタイ星とベガ星をけん牛(ひこ星)、織姫(織姫星)と呼んでいます。この二人は仲が良すぎて仕事をしなくなったため、天の神の怒りに触れ、別れ別れになってしまったのです。しかし、それから二人は懸命に働き、一年に一度7月7日カササギの橋の上で会うことが許されたと伝えられています。